

【マクロ経済】

・預金準備率引き下げ

デニー・カリヤリヤ・ザンビア銀行（BoZ）総裁は、流動性状況を緩和し、経済における金利に影響を与えるための一連の措置の一環として、国内通貨預金に対する法定準備率（SRR）の引き下げを発表した。金曜日にザンビア農業商業ショーでの記者会見で、カリヤリヤ氏は、変更が7月1日に発効したと述べた。中央銀行は、国内預金に対する法定準備率を 26% から 21%に 5%引き下げた。（8 月 3 日、ZDM&ToZ）

・GDP リベースを正式に開始

ザンビアは、経済の現在の構造をよりよく反映し、経済計画を強化するために、2023 年を新しい基準年として採用し、国内総生産（GDP）リベース作業を正式に開始した。ザンビア統計局（ZamStats）のシーラ・ムデンダ統計官は、過去 15 年間に大きな構造変化があったにもかかわらず、同国の現在の GDP 推計が依然として 2010 年を基準としているため、この作業は不可欠であると述べた。（8 月 3 日、ZDM）

・ザンビアが新たな輸出市場を確保

植物検疫・植物衛生サービス（PQPS）は、ザンビアが国際植物検疫基準への準拠を改善したことにより、同国は農産物の新たな輸出市場を確保す

ることができたと述べた。PQPS は農業省傘下の部署で、植物および植物製品の安全な貿易を促進する責任を負っている。シドニー・ムフネ植物衛生検査官代理は、同国が厳格な植物検疫要件を満たす能力が、中国およびその他の地域・国際市場への市場アクセスを強化したと述べた。（8 月 5 日、ToZ）

・クワチャが 1 ドル=19 クワチャに下落する中、銅価格の上昇が支援材料に

世界の銅価格の急騰は、ザンビアの外貨収入を支える可能性がある。クワチャは米ドルへの強い需要に加え、選挙関連の市場の警戒感に圧迫されている。アクセス銀行グループの最新の市場解説によると、銅価格は5月中旬以来の最高水準に上昇し、ロンドン金属取引所（LME）の銅価格は、世界的な銅供給の逼迫と米国の堅調な輸入需要が市場を下支えし続け、1 トンあたり 14,000 米ドルを上回った。（8 月 6 日、DN）

・中国への輸出が急増－ザンビアの鉱業コモディティ、スイスから市場をシフト

ザンビアは輸出パターンに変化が見られ、ザンビア政策分析研究所（ZIPAR）によると、中国が鉱業部門のコモディティの主要な輸出先として台頭している。同シンクタンクの

エマニュエル・ムマ事業開発マネージャー兼貿易専門家は、ザンビアの輸出先の変化は、主に世界経済及び地政学的な動向、特に中国の産業能力の成長と重要鉱物に対する需要の増加に影響されていると述べている。
(8月11日、ZDM)

・インフレは中期的に安定を維持する見込み – BoZ

デニー・カリヤリヤ・ザンビア銀行 (BoZ) 総裁は、中央銀行が中期的に低く安定したインフレを予想しており、インフレ率は2026年に6.8%、2027年に6.1%と予測されていると述べた。この見通しは特に鉱業、エネルギー、農業部門におけるより強力な経済成長への期待に支えられている。
(8月11日、ZDM)

・インフレ率、8年ぶりの低水準となる6.2%に低下

ザンビアの年間インフレ率は、7月6.5%から6.2%に低下し、2018年2月以来の最低水準に達した。これは、クワチャ高により大半の州で物価上昇圧力が緩和されたことが背景にある。今回発表されたインフレ率は、商品・サービスの価格が2025年8月から2026年8月までの1年間に平均6.2%上昇したことを意味する。
(8月28日、ZDM、DN、ToZ)

・債務返済額、現在9億ドルー債務再編前は年間約20億ドルの返済負担

ザンビアは現在、年間約9億ドルの債務返済を行っており、これは債務再編プロセス前に支払っていた年間20億ドルを大幅に下回ると、財務・国

家計画省のシニア債務専門家が述べた。
(8月28日、ZDM)

・ザンビアの40億クワチャの貿易黒字はシンクタンクを喜ばせる

平和構築・変革的リーダーシップセンター (CPTL) は、2026年7月に記録されたザンビアの41億クワチャの貿易黒字を歓迎し、経済回復の心強い兆候であると述べた。ザンビア統計局 (ZamStats) が発表した2026年8月の月次情報公開に反応し、マヤニ・ムスマリ CPTL エグゼクティブディレクターは、この好調な貿易収支はザンビアの輸出能力の向上を示していると述べた。
(8月30日、ZDM)

・政府は借入削減に動く

政府は国内歳入動員を強化し、国家開発資金調達におけるザンビアの借入依存度を減らすことを目指している。財務・国家計画省は、このイニシアチブが2027-2031年中期歳入戦略 (MTRS) の中心であり、その公開協議が2026年9月3日にルサカで開始されると述べた。これは8月30日財務長官室が発表した声明による。
(8月31日、ToZ & ZDM)

【エネルギー】

・燃料価格が再び大幅値下げ

エネルギー規制委員会 (ERB) の最新の価格見直しにおいて、3ヶ月連続で燃料価格を引下げた。8月の価格改定では、ディーゼル価格が1ℓ当たり28.11ZMW から26.86ZMW に、ガソリン価格が26.15ZMW から25.29ZMW に引き下げられ、ガソリンスタンドの消費

者から喜びの声が上がっている。今回の新価格は、2026 年 6 月と 7 月に続く更なる値下げとなり、クワチャが最近米ドルに対して下落しているにもかかわらず、自動車利用者や通勤・通学者の双方にとって更なる負担軽減となった。ERB は昨日、国際原油価格の急落を受け、2026 年 8 月の燃料小売価格の引き下げを発表した。(8 月 1 日、ToZ & ZDM)

・投資持株会社 ZCCM-IH、エネルギーパートナーシップに投資

フェスト・ムソンダ ZCCM インベストメンツ・ホールディングス (ZCCM-IH) 会長は、同社が合計 1,800MW のエネルギープロジェクトに投資したことを明らかにした。ルサカで開催中の第 98 回ザンビア農業商業ショーで記者団に語ったムソンダ氏は、これはプロジェクトを実施する企業との提携を通じて達成されたものであり、その中には 600MW を占めるマアンバ・エナジーも含まれると述べた。同氏は、同社のエネルギー部門への投資は、2031 年までに年間 300 万トンの銅を生産するという国のより広範な目標に最終的に合致すると指摘した。(8 月 3 日、ToZ)

・ザンビアの電力危機が大規模な太陽光発電への移行を促進

ザンビアのエネルギー市場は、電力不足と燃料費の高騰に対応して、家庭が太陽光発電への投資を増やすにつれて、大きな変化を遂げていると、電気技師のムワンゴ・チシャ氏が指摘した。ムワンゴ氏は、以前は ZESCO

の電力供給が概ね信頼でき、発電機も手頃な価格で稼働できたため、太陽光エネルギーは高価な選択肢と見なされていたと述べた。しかし、ムワンゴ氏は、発電能力を上回る電力需要の増加に加え、燃料価格の高騰が、太陽光発電をより魅力的で費用対効果の高い代替手段となっていると指摘した。(8 月 15 日、ToZ)

・ザンビア、地域再生可能エネルギー生産国になる見込み

ザンビアは、近年の太陽光発電部門への大規模な投資を考慮すると、この地域における主要な再生可能エネルギー生産国となるのに十分な位置にある。ザンビア太陽光産業協会 (SIAZ) のマタンダ・ムウェワ会長は、この目標は、一貫した政策実施、継続的な投資、政府と民間部門との強固な協力によっても達成できると述べた。(8 月 18 日、ZDM)

・ERB が 184 億 ZMW のエネルギープロジェクトの資金調達を承認

エネルギー規制委員会 (ERB) は、ザンビアの電力、再生可能エネルギー、石油下流サブセクターにおける約 184 億 K の投資提案に関する 23 のライセンスを承認した。承認された 23 のライセンスのうち、2 つは再生可能エネルギー発電設備の製造・供給・設置・保守をカバーし、8 つは石油輸送、11 は石油流通・輸入・輸出、2 つは潤滑油の輸入・ブレンド・包装・流通・輸出に焦点を当てている。ナムコロ・カスムパ ERB 広報マネージャーは声明で、9 億 7,150 万米ドルに

相当するこれらの承認は、2026 年 8 月 10 日に開催された ERB ライセンス委員会会議で付与されたと述べた。

(8 月 18 日、ToZ)

・ 36MW 太陽光発電プロジェクト、余剰電力を国家送電網に供給へ

CNBM ザンビア工業団地に新設された 36MW の太陽光発電プロジェクトは、同施設の「外部からの電力購入ゼロ」を実現し、余剰電力を国家送電網に供給する予定。この発電所は、1 月 31 日にすべての事前接続作業が完了した後、2 月 4 日に正式に送電網に接続された。(8 月 22 日、ToZ)

・ タンザニア向け燃料入札開始

ザンビアは、輸入コストを削減し、石油部門の効率を向上させるため、TAZAMA パイプラインを通じた燃料供給の競争入札を再開する動きを見せている。アクセス銀行グループの市場解説によると、国営パイプライン運営会社は、10 月から始まる 12 ヶ月間の燃料供給契約の事前資格審査に石油販売会社を招待した。(8 月 27 日、DN)

【保健】

・ ハカインデ・ヒチレマ大統領、世界水準のがん病院を開所

ザンビアは医療分野で大きな節目を迎え、南アフリカ、エジプトと並び、先進的ながん専門病院を備えるアフリカでわずか 3 カ国の一つとなった。ヒチレマ大統領は総額 3,100 万米ドルの同施設の開所式を行い、国内各地の何百人ものがん患者にとって「祈

りがかなえられた」出来事だと述べた。6 年にわたる待機、不確実性、治療を求めてのつらい旅路を経て、ユニバーシティ・ティーチング・ホスピタルズ (UTHs) 内のキャンサー・ディジーズ・ホスピタル (CDH) における放射線治療および画像診断サービスの再開は、がん患者に新たな希望と尊厳をもたらした。(8 月 2 日、ZDM)

・ 860 万枚の蚊帳を全国配布へ

マラリア対策を強化するため、ピーター・コタン・エンド・マラリア評議会 (End Malaria Council) 議長は、今年の雨季前に全国で 860 万枚の蚊帳を配布すると述べた。コタン議長は受益者、特にルアプラ州の住民に対し、蚊帳を漁業活動に使用しないよう注意を促した。インタビューで同氏は、2023 年から 2024 年にかけて評議会が 1,100 万枚の蚊帳を配布し、その結果、1 日当たりの死亡者数が 5 人から 3 人へと減少したと述べた。また、この死亡者数は過去 10 年間で最も低い水準だと付け加えた。(8 月 8 日、ZDM)

・ 妊産婦死亡率が大幅に低下

ケネディ・リシンピ保健省次官 (技術サービス担当) は、過去 5 年間で妊産婦死亡率が大幅に低下したと述べた。ZANIS TV の番組「Zambia Today」でリシンピ次官は、2021 年には妊産婦死亡率が出生 10 万件当たり 252 人だったが、2025 年 12 月までに出生 10 万件当たり 103 人にまで低下したと述べた。同氏は、この妊産婦

死亡率の低下は、2026 年末までに妊産婦死亡率を出生 10 万件当たり 100 人未満に引き下げよう求めたヒチレマ大統領の指示に直接応えるものだ」と述べた。

(8 月 15 日、ToZ)

・保健人材データでザンビアがアフリカ首位

世界保健機関（WHO）アフリカ地域事務所は、ザンビアが前例のない 94% というデータ可用性スコアを達成したことを公式に認定し、同国を保健人材の計画・分析の卓越性においてアフリカ大陸首位に位置付けた。この栄誉は、同国が最近進めた保健登録簿（レジストリ）のデジタル変革を際立たせるもので、政策立案者が医療従事者の配置を追跡し、深刻な人員不足を特定し、医療人材をリアルタイムで公平に配分することを可能にしている。(8 月 25 日、ToZ)

・ユニセフ調達の救急車 150 台を全国展開

政府は、国連児童基金（UNICEF）の支援で調達した救急車 150 台を、全国の医療施設に配備する方針。ケネディ・リシンピ保健省次官（技術サービス担当）は、新たな車両群を近く配備し、救急対応を強化するとともに、特に農村部やアクセスが困難な地域における搬送サービスへのアクセスを改善すると述べた。

(8 月 27 日、ToZ & ZDM)

【農業】

・ザンビア、種子生産量 20 万トン

目指す

ザンビア種子取引業協会（ZSTA）は、今季の同国の種子生産量が約 20 万トンに達するとの楽観的な見通しを示しており、これは昨年記録から 10% の増加に当たる。この進展は、ザンビアの種子生産性が 2022/2023 年シーズンの約 8 万トンから昨シーズンの 18 万トンへと伸びてきたことに見られるように、着実な成長軌道にあることを示している。

(8 月 27 日、ToZ)

・ザンビアの牛肉部門に参入を - ブラジル投資家に呼びかけ - 40 人のブラジル代表団がビジネス協力を模索

ザンビア開発庁（ZDA）は、牛肉の輸出年間 10 億米ドルという野心的目標の達成を目指す中、同国の牛肉・畜産分野での機会を探るようブラジルの投資家に呼びかけた。アルバート・ハルワンパ ZDA 長官は、ザンビアには国内各地で約 4,300 万 ha の耕作適地があり、そのうち現在耕作されているのは約 15% に過ぎないなど、投資家が活用できる大きな農業ポテンシャルがあると述べた。(8 月 29 日、ZDM & ToZ)

【鉱業】

・精製銅輸出が増加 - 物量は 76,200 トンから 2.2% 増

ザンビアの精製銅輸出収入は、輸出量の増加と国際銅価格の上昇に支えられ、今年 6 月に 20.0 百万 ZMW となり、5 月の 19.6 百万 ZMW から 7.2%

増加した。(ザンビア統計庁(ZamStats)の最新月次貿易速報)。同庁によれば、精製銅の輸出量は5月の76,200トンから6月は81,700トンへ2.2%増加した。同期間、ロンドン金属取引所(LME)の銅価格は1トン当たり13,507.1米ドルから13,574.3米ドルへ0.5%上昇した。(8月1日、ZDM)

・供給逼迫で銅が1万4,000ドル超に上昇

ロンドン金属取引所(LME)の銅価格は、世界的な供給逼迫と米国・中国からの堅調な需要により、トン当たり1万4,000米ドルを上回った。銅価格の上昇は、ザンビアに外貨と財政収入の拡大機会をもたらしている。アクセス銀行グループの市況コメントによれば、LMEの銅在庫は5月以降40%超減少し、直近物と3カ月物のスプレッド拡大は、足元の供給不足の拡大を示唆している。同銀行はまた、「中国では銅鉱石へのアクセスの制約、品位低下、スクラップ市場の混乱により製錬所の生産が減少し、供給制約が一段と強まっている」と警鐘を鳴らした。(8月11日、DN)

・鉱業規制は国内還元拡大を狙い - カベタ鉱物・鉱山開発省次官

政府は、新たに導入したローカル・コンテンツ規制が、鉱業部門の支出のより多くを国内にとどめ、地場企業の発展、雇用、富の創出につなげることを目的としていると述べた。ハペンガ・カベタ鉱物・鉱山開発省

次官は、今年1月に発効した同規制により、鉱山各社は物品・サービスの調達においてザンビア資本の企業を優先することが求められると説明した。(8月14日、DN & ZDM)

・南部アフリカ開発共同体(SADC)、鉱物資源を基盤とした工業化へ移行を求められる

クレイバー・ガテテ・国連アフリカ経済委員会事務局長は、南部アフリカ開発共同体(SADC)は、原材料のまま輸出を続けるのではなく、豊富な鉱物資源を活用して工業化を推進し、雇用を創出して域内により多くの付加価値を残すべきだと提言した。南部アフリカ地域には、コンゴ民主共和国(DRC)のコバルト、ジンバブエのリチウム、南アフリカのプラチナとマンガン、ザンビアの銅など、アフリカで最も重要な鉱床が多く存在する。鉱物はSADCのGDPの約10%、輸出の25%、政府歳入の20%を占める一方、直接雇用は約7%にとどまっている。(8月17日、ZDM)

・南部アフリカ開発共同体(SADC)は原材料輸出をやめるべき

クレイバー・ガテテ・国連アフリカ経済委員会事務局長は、南部アフリカ開発共同体(SADC)が鉱物資源を活用して工業化、雇用、経済変革を進めるためには、原材料の輸出から脱却し、南部アフリカ域内により多くの経済的利益を残す付加価値型のバリューチェーン構築に注力すべきだと述べた。(8月20日、DN)

・ザンビアの宝石セクターは期待未

達

鉱物規制委員会（MRC）は、ザンビアの宝石セクターの業績が期待を下回っているのは、多くの鉱床が十分に探査されておらず、大多数が零細（アーティザナル）採掘であるためだと述べた。ミチェロ・マルンギサ広報担当は、業績不振の原因として、探鉱が限られていること、多くの鉱床が未探査のままで、主に零細規模で採掘されていることを挙げた。（8月17日、ToZ）

・ファースト・クアンタム・ミネラルズ社（FQM）、目標を維持 – カンサンシで銅 20 万 5,000 トンを見込む

カナダに本拠を置く大手鉱山会社ファースト・クアンタム・ミネラルズ（FQM）は、12 億米ドル規模の生産拡張プロジェクトによる生産改善を背景に、2026 年のカンサンシ鉱山での銅生産目標（最大 20 万 5,000 トン）の達成に自信を示している。トロント上場の FQM は、ザンビアでソルウェジのカンサンシ鉱山・製錬所、カルンビラのセンチネル銅鉱山およびエンタープライズ・ニッケル鉱山を運営しており、昨年の世界全体の生産は銅 39 万 6,000 トン、金 15 万 2,000 オンス、ニッケル 2 万 3,000 トンだった。（8月20日、ZDM）

・政府、金（ゴールド）の規制強化へ」 – 中銀を国内唯一の公認買い手とする法律を制定

政府は、漏出を抑え監督体制を強化するため、中央銀行を国内唯一の金の公認買い手とする形で金セクター

の規制を強化する方針を発表した。ハペンガ・カベタ鉱物・鉱山開発省次官によれば、必要な法案が国会で承認され次第、新たな規制枠組みの下で、金の下流工程に関与する全ての企業に個別のライセンス取得を義務付けることになる。（8月27日、ZDM & DN）

【対外関係・貿易】

・非関税障壁の撤廃で進展

ザンビアは、特に非関税障壁（NTBs）の撤廃で顕著な進展を遂げていると、ザンビア政策分析研究所（ZIPAR）が発表した。公共政策系シンクタンクである同研究所は、自らの調査から、政府が実施した改革により貿易上のボトルネックが緩和され、特に小規模事業者にとってのビジネス環境が改善し始めていることが示されていると指摘。官僚的手続き、国境での遅延、過度な書類要求などの非関税障壁は、歴史的に貿易、特に中小零細企業（MSMEs）を制約してきたという。（8月5日、ZDM）

・アフリカ大陸自由貿易圏（AfCFTA）に TAZARA 復活が不可欠 – 政府

政府は、TAZARA 鉄道の再活性化が域内貿易の強化と、アフリカ大陸自由貿易圏（AfCFTA）の円滑な活動の実施を支える上で極めて重要な役割を果たすとの見方を示した。フレドリック・ムワルサカ運輸ロジスティクス省次官は、この戦略的鉄道回廊の近代化により、連結性が向上し、国境を越える貨物の移動が促進され、

域内企業の競争力が高まると述べた。同氏は、鉄道の変革アジェンダはAfCFTAの目標と密接に合致していると強調した。(8月6日、ToZ & ZDM)

・ルアプラ州を貿易円滑化ハブに - 道路開発庁 (RDA)

2億6,000万米ドル規模のカソメノムウェンダ道路・橋梁プロジェクトが完成すれば、ルアプラ州は多様な経済活動を擁する貿易円滑化のハブとなる見通し。同インフラ事業はザンビアとコンゴ民主共和国 (DRC) にまたがり、両国間の極めて戦略的な道路回廊を形成する。完成すればアフリカ最大級の国境検問所となる見込みで、道路、橋、ワンストップ国境施設で構成される。(8月6日、ZDM)

・ガバナンス指数でザンビアがアフリカ 17 位

ザンビアはイブラヒム・アフリカ統治指数 (IIAG) で 56.6% を獲得し、大陸平均の 49.3% および南部アフリカ地域平均の 54.6% を上回った。最新の IIAG 報告書によれば、ザンビアの順位の改善は、同国の投資環境に関して、世界の民間部門、開発金融機関 (DFIs)、開発パートナーに対して強いポジティブ・シグナルを送るものだという。(8月7日、ToZ)

・ザンビアとコンゴ民主共和国 (DRC)、越境貿易統制を強化へ

ザンビアとコンゴ民主共和国 (DRC) は、ンドラでのハイレベル二国間協議を受け、越境貿易の統制強化を誓約した。両国当局者は、密輸やランジット貨物の不正な迂回を根絶し、

両国に数百万規模の歳入損失をもたらしている状況を是正すると表明した。(8月10日、ToZ)

・インドとザンビアの二国間貿易、23%拡大

アロク・ジャ在ザンビア・インド・ハイコミッショナーは、貿易、鉱業、教育、文化の連携強化を背景に、過去1年で二国間貿易が23%拡大したと述べた。インド独立記念日レセプションで同氏は、両国が経済関係を一層深める中、商業外交がインド外交の中核的要素となっていると語った。(8月17日、ZDM)

【インフラ】

・ザンビアのロビト回廊参画に2億6,500万米ドルを承認

アフリカ開発銀行 (AfDB) とマッテイ計画ファイナンスング・ファシリティ (MPFF) は、ロビト回廊開発イニシアチブへのザンビアの参画を支援するため、総額2億6,500万米ドルの資金供与を承認した。内訳は AfDB が2億5,500万米ドル、MPFF が1,000万米ドルで、複数の多国間・二国間パートナーとの連携による統合的な経済回廊アプローチ推進の一環となる。資金供与は段階的に実施され、AfDB の2億5,500万米ドルはアフリカ開発基金。第16次増資 (ADF-16) の下での第1弾となり、後続フェーズでの追加資金動員により総額5億米ドルまで資金規模を拡大することが想定されている。(8月12日、ToZ、ZDM & DN)

・輸出の0.8%のみが鉄道利用

ザンビア統計庁（ZamStats）の最新データによると、総輸出額 165 億 ZMW のうち鉄道で運ばれたのは 1.4 億 ZMW に相当する 0.8%にとどまり、道路輸送が 95.8%と最大の割合を占めた。大量貨物の相当部分は鉄道インフラでの輸送が可能であるにもかかわらず、ザンビアの国際貿易が道路輸送に大きく依存している実態が浮き彫りになっている。（8月13日、ZDM）

・ザンビア・DRC間のディロローサカニア鉄道に関するコンセッション契約

コンゴ民主共和国（DRC）は、ポルトガル系企業モタ・エンジル社のアフリカ法人モタ・エンジル・アフリカは、ロビト回廊のDRC区間に当たる全長約 1,000km のディロローサカニア鉄道線の改修に関するコンセッション契約（一定期間の開発・運営権を民間企業に付与する契約）に署名した。この動きは、地域統合の深化と貿易の多角化に向けた大きな一歩と位置づけられている。契約は、DRC 政府とモタ・エンジル・アフリカとの間において 26 日に DRC のキンシャサで締結された。（8月28日、ToZ）

・計量システム近代化で中国と連携

ザンビアは、産業競争力の向上と経済成長の後押しを目指し、国家計量インフラの近代化と主要分野の技術力強化に向けて中国と連携する。ザンビア計量庁（ZMA）のハンフリー・

ムコベニ長官は、中国の CIMM（計量・計測研究機関）との連携により、長年の二国間関係を実践的な技術・制度面の協力へと具現化することになると述べた。（8月13日、DN）
（了）